

## 令和5年度決算の概要

### 1. 教育・研究および医療環境の整備

#### (1) [教育関係]

- ① 御井学舎  
第2体育館および弓道場の耐震改修
- ② 医学部  
医学情報教育用システム更新
- ③ 附設高校  
第2体育館および特別教室棟の新築工事（調査・設計）

#### (2) [研究関係]

- ① K G - P R O J E C T（ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ）

#### (3) [医療関係]

- ① 新型コロナウイルス感染症への対応（5類感染症移行後の対応）
- ② 大学病院  
治験におけるリモートSDVシステムの導入
- ③ 医療センター  
心臓カテーテル室血管造影装置更新

#### (4) [地域連携]

- ① S D G s 推進プロジェクト

### 2. 財務状況

#### 【事業活動収支の状況】

事業活動収入計の622億8千9百万円から、事業活動支出計の616億8千5百万円を差し引いた基本金組入前当年度収支差額は、6億4百万円となり、予算比で4億9千6百万円の増となりました。

内訳として、経常収支差額は1億6千4百万円となり、予算比では6千7百万円の増となりました。収入では、対前年度比で新型コロナウイルス感染症対策に係る補助金交付金が大幅に減少しましたが、医療収入および寄付金が増加、支出では、医療収入の増加に伴う医療経費が増加したものの、支出抑制などによる教育研究経費（医療経費を除く）および管理経費は減少しています。

臨時的な収支を示す特別収支差額は4億4千万円、収入では、施設設備の補助金の増、支出では資産処分差額の減など、予算比で3億2千9百万円の増となりました。

基本金組入前当年度収支差額から基本金組入額合計 3 2 億 7 千 2 百万円を差し引いた当年度収支差額は、2 6 億 6 千 8 百万円の支出超過となりました。

以上のことから、基本金組入前当年度収支差額は黒字となりましたが、事業活動収支差額は減少しており、今後も安定した財務基盤確立に向け、本業である教育活動収支の改善を図るなど、基本理念、将来構想の実現に向けて取り組んでまいります。

### 【資金収支の状況】

収入の部小計の 1, 1 3 3 億 1 千 8 百万円から、支出の部小計の 1, 1 2 4 億 7 千 2 百万円を差し引いた当年度収支差は、8 億 4 千 6 百万円となり、予算比では 7 億 2 百万円の増となりました。

予算比の主な増減は、事業活動収支状況に加えて、収入の部では資産売却収入の増、支出の部では施設・施設関係支出が減、資産運用支出は増となりました。

以上の結果、翌年度繰越支払資金は、7 1 億 8 千 6 百万円となりました。

### 【貸借対照表の状況】

資産の部合計は 1, 2 0 4 億 4 千 4 百万円で、前年度比 3 億 5 千 9 百万円減少しています。一方、負債の部合計は 2 8 5 億 7 千 2 百万円となり前年度比 9 億 6 千 3 百万円減少しています。基本金と繰越収支差額を合計した純資産は 9 1 8 億 7 千 2 百万円となり、前年度比で令和 4 年度の基本金組入前当年度収支差額分の 6 億 4 百万円増加しています。

◎財務書類等（財産目録・貸借対照表・収支計算書・事業報告書・監査報告書）の閲覧の請求は、財務部経理課で承ります。